34, PS 22.5, am 55, al 42.5, pl 57.5, s 65, hm 60, dsa 55, dsp 41, vsa 32.5, PP-SS-5, DS 30 であつて、剛毛式は 2, 8, 6, 8, 4, 2 であるが第 3 列以下は不規則に並んでいる。腹面には肛門前 21, 肛門の後に 7 本の毛がある。第 3 脚基節の形は A 型である。最後に、全期間においてとれたツツガムシの内、多数とれて主なものであるフジ, キタサト, ガーリエピア及びコウチミヤの 4 種を各月別にみると、フジ, キタサト, ガーリエピアは 12 月に、コウチミヤツツガムシは 1 月によくとれた。
〔九大寄生虫〕

黒島の恙虫

北原 経太

Kitahara, K.; Tsutsugamushi of Kuroshima Island

昭和 26 年秋、本学会九州部会に於て「トカゲに寄生し人体を襲う黒島の恙虫」を発表したが、佐々の八丈島より得たる恙虫標本と比較した処、全く同種のものである事を認めた。従つて黒島にてトカゲより得て更に、人体より得た恙虫は同種にして *T. wichmanni* と同定する。今回調べた形態は次表の如くである。單毛は何れも

		轉 節	腿 節	膝 節		脛 節	
		有枝毛	有枝毛	單毛	有枝毛	單毛	有枝毛
前 脚		1	6	3	4	2	8
中 脚		1	6	1	3	2	6
後 脚		1	5	1	3	1	6

背面に生ず。

背甲板の測定結果は次表の如くである。表中 AM は前中毛の、AL は前側毛の、PL は後側毛の、S は感覚毛の長さを示す (單位はミクロン)。跗節の長さは爪を除き測れば前脚にて 82, 中脚にて 67, 後脚にて 90 である。
〔鹿児島縣立大公衆衛生〕

西日本の恙虫〔II〕雲仙の恙虫

光富 慎吾

Mitsudomi, S.: *Trombicula* in West Japan (II)
Trombicula at Unzen-hot-spring

緒言：昭和 26 年秋私は福岡縣と佐賀縣の界にある背振山に於て、*Trombicula kuroshio* Sasa et Kawashima 1951 (クロシオツツガムシ) 4 匹を得て、九州にも恙虫が分布している事を最初に確認し、之を 11 月に開かれた本学会の第一回九州部会に於て発表した。其後佐々博士の御協力を得て、九大寄生虫学教室の方々や私共によつて次々といろんな種類のものが分布していることが明らかになつて来た。私は今回は 11 月 18 日 19 日長崎縣雲仙温泉に於て採集した成績について報告する。

調査成績：野鼠の採集にはパチンコ式トラップ 50 個を、餌としては牛肉片を用い、アカネズミ 2 頭、ハタネズミ 1 頭、ヒミズモグラ 3 頭を得た。即ち野鼠の捕獲率は 12% であつた。之に寄生していた恙虫幼虫は詳細な計測を行い、分類したが、其の成績を要約すると第 1 表の如く、*T. kuroshio* Sasa et Kawashima, 1951 (クロシオツツガムシ)、*T. fuji* Kuwata, Berge et Philip,

		AW	PW	SB	ASB	PSB	A-P	AM	AL	PL	S	SD
八 丈 島	人	90	107	48	38	30	36	49	45	56	57	61
	鼠	96	112	48	32	32	32	48	42	53	57	75
		92	104	44	32	32	36	45	45	53		63
		96	104	48	36	36	32	45	53	53	53	60
黒 島	人	90	104	48	33	32	32			56		61
		92	108	48	32	28	36		48	52		66
		95	116	48	32	28	40			56		60
		92	108	47	30	32	32	50	45	56	53	
		95	110	48	35	30	38	48	45	53		
	トカゲ	90	110	45	30	30	38	45	45	56	53	63
		92	110	48	30	30	38	45	45	54		
		96	116	50	32	28	36		48	56	40	75
		92	112	46	36	32	36	52	56	60	60	75